

セキュリティプラットフォーム 追加機能一覧表 (Version 3.7.18)



2019年7月

セキュリティプラットフォーム に追加された機能についてご紹介いたします。

追加点	製品名	詳細
アプリケーション 対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	Microsoft Office 365 ProPlus バージョン 1906 (ビルド 11727.20230) に対応しました。
アプリケーション 対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	Google Chrome 76β版 (76.0.3809.62) に対応しました。
アプリケーション 対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	Firefox ESR 60 (60.7.2) に対応しました。 ※現バージョンでは、Windows 7 (32bit) および Windows 10 (64bit) のみ対応となります。
アプリケーション 対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	Adobe Acrobat Reader DC (2019.012.20035) に対応しました。
機能改良	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV	【Write制限機能強化】 「アプリケーション毎の設定」を強化しました。 ・「領域を設定するアプリケーション」において、正規表現を用いたデスクトップアプリの指定ができるようになりました。 ・「アプリケーション毎に書き込みを制限/許可する領域」を、ファイル単位で指定できるようになりました。

*セキュリティプラットフォームの著作権その他一切の知的財産権はハミングヘッドズ株式会社に帰属します。

*ハミングヘッドズセキュリティプラットフォームは、ハミングヘッドズ社の登録商標です。

*Windows は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標、及び商標です。

*その他のブランド名や製品名もそれぞれの所有者の商標または登録商標です。

*本製品の仕様については、事前の予告なしに変更することがあります。

*本書の内容の一部・または全ての無断複写・転用・転載等は、特定の場合を除き、ハミングヘッドズ社の著作権の侵害になります。

*このレポートは2019年7月現在のものです。

Humming HEADS®

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西5-38-8

電話：03-6808-1300 F A X：03-5679-7720